

病院小児科ネットワーク参加施設の活動紹介(五十音)-2011-07

病院名	小児救急	神経	新生児	腎臓	循環器	呼吸	血液腫瘍	アレルギー	代謝内分泌	感染症	消化器肝臓	心身症	小児外科	小児科専門医研修施設	研修支援施設	備考(自由記載)
愛仁会高槻病院	◎	○	◎	△	△	○		○	○	○		△	○	○	○	NMCSおよびOGCSの基幹病院 三島医療圏唯一の24時間通年制小児二次救急対応施設
愛仁会千船病院	◎	○	◎	△				○		○				○		地域周産期センター
愛染橋病院	○	○	◎	△	○			◎	△	○			○	○		総合周産期母子医療センター 日本アレルギー学会認定教育施設
和泉市立病院	○	◎		○	△			○	○	○		◎			○	小児神経専門医(てんかん)、発達外来(心理士も)、メタボ外来あり。
大阪警察病院	○	◎	○	△	△			○	◎	○	○	○			○	
大阪厚生年金病院	○	○	○	△	○	○		△	○	○		△			○	小児精神科医の診察(隔週)、臨床心理士の発達検査・相談(毎週)も行っている。
大阪市立総合医療センター小児医療センター	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	△	○	○	○	○	
大阪赤十字病院	○	○	○	△	△	○	○	◎	△	○	△	△	○	○	○	臨床心理士;常勤(精神科) 地域周産期センター
大阪府立急性期医療センター	◎	△	◎	△	△		△		○	○	◎	△	○	○		地域周産期母子医療センター 経験豊かな心理士が月6回の心理外来を行っている
大阪労災病院	○	○		○	△		○	○	○	◎	○	△	IBDのみ	○		日本感染症学会・日本糖尿病学会認定教育施設 病院敷地内に官舎あり

岸和田 徳洲会病院	◎	○			△			○		○				○		神経はてんかんが主体
協仁会小松病院	○	◎		○	○	○		○	△	○		△		○		臨床心理士が週2回心理外来を行っている。救急は診療時間内と輪番日に実施。
国立病院機構 大阪医療センター		○					○	○	○	○	○	△				
済生会泉尾病院				△	△			◎	△	○		△				経験豊かな臨床心理士が週2回の心理外来を行っている
市立池田病院	○	◎	△	△	○			◎	○	○	○	○		○		神経は療育も含めて総合的に行っている、心理は医師による発達障害から心理士のカウンセリングまで行っている。アレルギーは専門医の準認定研修施設になっている
市立貝塚病院	○	△		△	△			◎		○						病院敷地内に官舎あり
市立岸和田市民 病院	○	○			△	○		◎	△	○			△	○		泉州地域90万人医療圏の中核病院隣接する官舎あり
清恵会病院	◎	◎		○	△			○		○				○		堺市の救急医療を担う中堅病院です。
同仁会耳原総合 病院	○	○	△	○	△	○		○	○	○	△	△	△	○	○	小児手術患者の術前後管理を行っている
中野こども病院	◎	○		○	○		○	○	△	○	△	◎		○		臨床児童心理研究所を併設
野崎徳洲会病院	△			△	△			○	△	○		△				病床なし(思春期慢性疾患入院可能)アレルギー準教育施設 救急車は時間内のみ 一人小児科
ベルランド 総合病院	◎	△	◎		△	○		○	△	○	△			○		地域周産期母子医療センター堺市小児救急二次後送病院

松下記念病院	○	○	○	△	△		○	○	△	○				○		血液疾患は一般治療から移植治療まで
箕面市立病院	○	△		◎				○	○	◎		△		○		豊能広域こども急病センターに隣接小児の腎生検施行可
八尾市立病院	◎	△	◎	○	△	○	◎	○	○	○				○	○	地域周産期母子医療センター 血液は血友病等の凝固異常症が主
淀川キリスト教病院	◎	◎	◎	△	○	○		○		○				○	○	臨床心理士による発達テストを含めた発達外来あり。
病院名	小児救急	神経	新生児	腎臓	循環器	呼吸	血液腫瘍	アレルギー	代謝内分泌	感染症	消化器肝臓	心身症	小児外科	小児科専門医研修施設	研修支援施設	備考(自由記載)

参加施設の活動内容

◎：参加施設がとくに重点的に診療を行っている領域・分野(原則として2つまで)

○：専門医あるいは当該分野の経験が豊かな医師が常勤であり、その分野の患者がコンスタントに受診している場合を○で表示した。

△：○に準ずるもの(非常勤医師が専門外来を担当している場合など)

他：自由に記載してください。そのままホームページにアップします。